

ぴっと・いん



★三度目のベルならす 鈴
サンタの雪ぞりのベルが
聞こえてくる十二月二日、
くらぶ 鈴(生田区中山手
一ノ一三三三三三三三三三
〇三三)は三周年を迎えた。
ママの山田昌子さんは、



くらぶ鈴の3周年風景

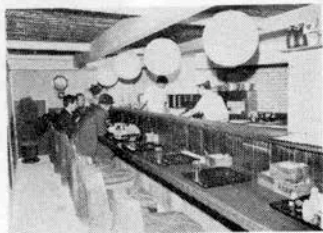
花隈検番にも鈴丸さんの名
で席をおくだけあって、も
てなしぶりもあかぬけたも
の。花隈おどりでも、秋草
譜を踊って尾上流の名取
りの腕をみせたはりきりマ
マさんだ。

★敷屋三宮店開く

阪急六甲の民芸風レスト
ラン、敷屋(神戸市灘区
宮山町三丁目九番八八一一
一〇八八)が四年目を迎え
て、石しゃぶなどユニー
クなオリジナル肉料理をあ
みだすなどで人気を呼んで

きたが、十一月二十七日、
三宮店を、山本通三星堂向
いの東洋プラザFに、一
品料理の民芸調お食事処を
つくった。

設計施工はインテリヤ・
イリフネで、本格的に土の
香をとり入れた凝ったデザ
イン。カウンター、八畳、
六畳、六畳と三部屋あって
それぞれ自在がかかった
たり、趣きを異にして素朴
な田舎風情を出している。
昼食も美味しいお弁当がで
るのでお昼間から利用でき
る。(三宮店 二四一一五
一一一)



敷屋三宮店のカウンター

★アイ・ジョージのあゆ

みの箱チャリティショウ
十二月九日(土) 山本通



ミリオナークラブのアイジョージショウ

のミリオナークラブが、ア
イジョージを招いて、あゆ
みの箱チャリティショウを
開いた。第一回、第二回とも

にディナー付きのショウで
第三回はショウのみ。津野
晴夫のバンドにのせて、ア
イ・ジョージはきたえたの
どをご披露した。なおミリ
オナークラブは土曜モダン
寄席を十二月から初めてい
る。十二月十六日宮川左近
十二月二十三日天地総子十
二月三十日レッツゴー三
匹。お笑いおさめをする人
も多いとか。

★ドイツ風スナック

アム・ラインをご存知?

生田新道を北上した加古
ビル3Fにヨーロッパの通
路「ライン川」を眺めてい
る光景、のんびりと飲んで
り、唄ったり、食事をした
りという純ドイツ風スナッ
ク「アム・ライン」がオー
プンした。

ママはクラブ小万にいた
千恵さん。ドイツムードの
お好きな方はどうぞ!

●神戸うまいもん とドリンキング

★TAC ROOM
ダツク

神戸市生田区栄町二丁目 佐野
達ビル1F
TEL 33115053

栄町、旧市電筋山側、
元町オフィス街に誕生し
たダツク。地中海風の白
とグリーン調の調和が美し
い。コヒー・紅茶一二
〇円で毎日変わったクッ
キーを付けてくれる。そ
れに、このご自慢はト
リスト。六種類もあって、



お値段は八〇円(二〇〇
円で、とてもおいしいの
です。その他、焼うどん
ダツクランチなどとメニ
ューもこんでいて、オス
イスレディー、ビジネス
マン、学生と巾広の人気
カウンターで頑張ってい
るのはマコト君という
学生さん御主人も気さく
な人で、お店の中がいっ
つも明るくていいムードな
のです。ダツクのマーク
と手製メニューの看板が
目印です。



酒 肆 *Nouvelle*

ヌベール

神戸市生田区北長狭通2丁目14

Phone 331-9005

あけまして
おめでとう
ございます

1973



千里

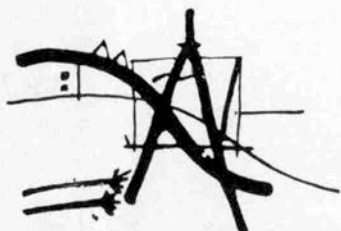
阪本 千里

生田区・東門筋東新ビル地階

TEL. 331-4730

●12月は29日迄、1月は4日午後1時より営業致します。

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末 積 製 額

三宮・大丸北
トア・ロード
331-1309・6234

おめでとうございます



おもちゃの

カメヤ



三宮方面でのお買物は……
さんちか店 ファミリータウン 064045
三宮店 センター街山側 064969
元町方面でのお買物は……
元町通3丁目山側 060090
パンプウ店 元町通1丁目不二家前 060768

あけまして
おめでとうございます



和風季節料理

花

さんプラザ地階 TEL 331-0087

営業時間 AM11:00~PM9:00

神戸百店会
だより



★盛況だった
クリスマスバザール

12月1・2日、明治生命ビル12Fで行なわれた恒例のラウンドショップKOB Eクリスマスバザールは、とても好評で、有名八店の関係者もニコニコ顔。ネクタイの元町バザー、



ラウンドショップ風景

シヨール・傘のオカダ、バッグのシラサ、宝石のタジマ、婦人服飾のエスターニエートン、靴のヨシオカ、着物のみよしや、洋品雑貨のスギヤと神戸超一流商店ごひいきのお客さんは、会場狭しと押し寄せ冬將軍の

訪れた神戸の街と打って変わったなごやかな雰囲気。

ネクタイだって靴だってなんだって驚異的な安価のバザールで一つづつでもためていくのが楽しみなK O B E のおしゃれマダムや、ヤングの嬉しいショッピング。今年は二千人の方がいらっしやうと、その盛況ぶりが伺えました。次回のラウンドショップをお楽しみに！

★ファミリア改装オープン
神戸元町本店ファミリアが12月1日増改築し、装いに新たにOPENしました。1F・出産用品、ギフト用



明るくオープンしたファミリア

品、スヌーピーコーナー、2F・ブティックコーナー、3F・玩具のりもの、インテリア用品などをファミリアらしく取り揃えている。一面に敷かれたじゅうたん。イタリアンタイルの螺旋階段。スヌーピーのブツクコーナー。ベビーに関するものは何でもそろっているのです。

ガラス張りで見やすい店内、ショーウィンドウには、まっ白のかわいいゆりかごや、大きなスヌーピー。あなたも白熊のマークのファミリアへいらしてみたら。

★麻生三郎展開かれる



元町画廊で開かれた麻生三郎展

元町画廊の元目、11月22日、12月5日まで現在武蔵野美術大学教授の麻生三郎氏の個展が開かれました。一九六九年〜七二年の三年間、個展用に制作した十四点を出品。心の目で現代をみつめている氏の絵は芸術家、芸術を理解しようとすると人々に人気があり、元町画廊念願の個展でした。

●ショップトビックス

★国際会館1Fのベニー毛皮店で12月5日〜12月25日まで、クリスマスプレゼントセールが行なわれました。お買上げのお客様には、もちろん特製カレンダーを。五〇、〇〇円以上お買上げの人はシヤネルセッタがプレゼントされました。ベニー毛皮店には、素敵な商品が数多く揃っています。あなたも一度いらしてみても。

★元町三丁目・海川魚料理の時雨茶屋が今年で五十周年を迎えました。春には店舗改装も予定しているとのこと。これからもどうぞよろしくとのこと。

★さんプラザ三Fの三愛で十一月十七日に、一風変わったファッションショーが開かれました。ブッシュタジオをうまく利用して、ヤングに受け受けのファッションショーでした。次回をお楽しみに！

★十一月に改装OPENした元町一丁目のイクシマは、着いたシッパナムードが素晴らしいです。ハンドバック、アクセサリー、陶芸器が品数豊富に揃っています。店頭には以前と同じワゴンに、どっしり重い陶器の灰皿や、コーヒークップ、お湯呑み、お猪口が手軽なお値段で並んでいて、ごきげんなのです。

★さんちか鳳月堂喫茶の絵画シリーズ「ルナ・ピナコチカ」が9月10日から三カ月展示されていた。絵画家広瀬安美氏の絵に代って同氏の子供絵が登場。あどけない子供の顔がずらり並んで、とてもかわいい。この絵は12月25日まで、その後は三カ月、日本画の山平義正氏の美人画が飾られます。美術鑑賞しながら、甘いおぜんざいなどはいかが。

★おもちゃのカメヤにはお正月の羽子板、破魔弓がいっぱい。羽子板は幼児用四〇〇円から、破魔弓は七五〇円から。羽子板でやっぱり情緒があってもいいものです。

ポケットジャーナル



★高村智恵子さんの「あじさい」を大壁画に

神戸市が建設中の市立中央公会堂（生田区楠町）の南側壁面に「神戸市の花」アジサイがモザイク壁画として組み込まれることに決まった。

原作者は「智恵子抄」で有名な高村智恵子さん。

晩年に制作された花をテーマにした紙絵作品のうちのひとつ、「あじさい」を高村家の承諾を得て使うことになった。

肌色の花瓶に生けられた一輪のあじさいは薄青色。淡いピンクの地に描かれており、静かな趣きをたたえた絵で専門家にも高く評価されている。

工事の監修には、田中岑画伯（川崎市在住、第一回安井曾太郎賞受賞）があら

い神戸っ子の評判は上々。大人気を呼んでいる。

Walkin-Styleをとっている、誰でも気軽に立ち寄って好みのものをバクついったり、飲んだりできる仕組みになっている。営業時間は、午前八時～午後八時。原則としては年中無休となっている。

ファースト・フードとは「速さ」を一つの売物とする食品群のこと。清潔なお店で素早く手にできるハンバーガー。品質も一〇〇％純ビーフ・パティートくれば、もう最高！

ハンバーガーと並んで、ドリンクの方はルートビアを。

こちらはニュータイプの新涼飲料。草木の根をエキスにした天然飲料で自然なものというもの。米国の



歩行者天国には広い通りでも O・K

誕生日
ありがと
運動



★私の心
（ちえおくれの子らの作品集「大きなつた」より）

私は小さい時からこんなになって、大きくなりしぜんとわるくなつた。小さい人や大きい人にいわれてないばかりいた。うちにいる時、母のてつだいをするのが私のすくいだった。私のできるしごとをいっしょうけんめいしたい。

久留米の大病院にいて、私よりかわいそうな人を見て私はかなしくなつた。くるしい時、かなしい時もある。でもまけないで生きて行く。お父さんやお母さんに苦勞させたままでしごとを早くおぼえ、世間に早く出て、親を安心させ、努力、協力、かんしゃをわすれず、生きて行きたい。どんなに思っても、自分がしっかりしていたら何でもやれると思つている。

人間と生れたことをかんしゃして生きたい。（成人施設入園生）

ちえおくれという障害を持った人たちが、懸命に生きています。同じ社会人として、彼らへの理解、協力を連帯の輪のひろがりを願っています。彼らも含めて全ての人が「人間と生れたことを感謝して生きる」ことができるように。

本運動では献金領収カードの増刷を控え文案の改訂を考へています。あわせて誕生日祝カードの作成も考へています。ちえをお借しください。（本部まで）

誕生日あたりがどう運動本部

神戸市若合区御幸通八の九の一神戸国際会館一階（郵便局の前）（二五一）八六一一内線二五八

KOBE POST

★邦舞の花柳秀次郎さんが、自宅改築にあたり十月一日より約八ヶ月左記に移転されたとお知らせが有りました。〒東京都中央区湊三ノ十二(七)番(〇)二七八

★兵庫トヨタ自動車KKの役員が新幹客となり取締役社長龍川勝二専務取締役滝川博司、常務取締役福岡保一、取締役市川不二雄、岸本繁、山本実、飯田俊二、二枝二郎の皆さんが就任されたことです。〒神戸市芦屋区磯辺通四丁目七番地の二三

★このほど発足した神戸フアン・オンアシエーション(K・F・A)の仮事務所は、〒神戸市生田区山本通二丁目一〇六ノ一八神戸服飾内(〇)二九九一です。

★アトリエぎやのそんぬの前川清明さんから、十一月二十四日より「KKぎやのそんぬ」として新発足、移転営業しましたとごあいさつが有りました。〒神戸市生田区花隈町99-1大建ビル1F(〇)七八三二(〇)二一四

★本誌のさし絵でおなじみの新制作の石坂春生さんの新作個展が、一月二十九日〜二月三日名古屋駅前、前のフォルム画廊で開かれます。大阪では四月の予定。

★「かねてつ」食品KKの故村上鉄雄社長の追悼集「鉄心」が、このほど、現社長の村上忠雄さんを初めとする編集委員によって刊行されました。

★本誌編集部のカメラマン藤原保之さんとコピーライターの高田明子さんが十一月二十四日めでたく結婚いたしました。おめでと。

★おわび
十二月号の特集神戸の中の中国座談会で、文中、鈴木岩次郎を鈴木久五郎に、また陳徳仁さんの肩書中興商社社長を「神戸中華総商會会長」に訂正いたします。

究家としてその学問的業績は、「世阿弥新考」(昭和三十三年)「続世阿弥新考」(昭和四十五年)いづれもわんや書店刊)に集成されているが、昨年末、京都の檜書店より、世阿弥に照らす「能謡新考」を発売された。

「世阿弥に照らす」作者と本説「世阿弥生誕六百年記念の座談会」世阿弥の「能」と茶・書・禪」など、「謡曲界」「宝生」「観世」「文学」等に執筆された論考を表章氏の編集でまとめたもの。双眼を病まれて、読み書き不能の氏が口述著作で、世阿弥に全力投

★有馬温泉入初式

毎年一月二日、市営有馬温泉会館の階上で行なわれる入初式という古式ゆかしい行事がある。

有馬温泉の守護神「温泉神社」から主神のご神輿と同温泉開発中興の恩人、行基と仁西兩僧の本像に、正月の初湯を捧げる儀式。

花時計



昭和年代の選挙

第三十三回の総選挙が終った途端に、各新聞社とも我が意を得たりとばかりに特大の見出しで共産党の躍進という字が躍った。

共産党が票をのばしたということとは、岡目八目の見れば選挙上手といふことであって、票がの

球される姿は貴い。「こんな本格的な編集で、好い眼を見るのも眼が悪いからだ」とだじゃれが出るほどお元氣なご様子は嬉しい限り。二八〇〇円(住所・神戸市東灘区御影町郡家千本田一一九の六)

式は、初湯をもみほぐす

湯もみ行事にはじまり、由縁深い地元の神仏に初湯を献じ、その後一般人の入り初めがされる。その時の湯女うたは昔ながらのもので聞きのがせない。

式が終わって神輿の退場の時、会館前で神仏と湯女が別れをおしんで、寄せよ、返せよ、と押しあう場面が見られるのもおもしろい。

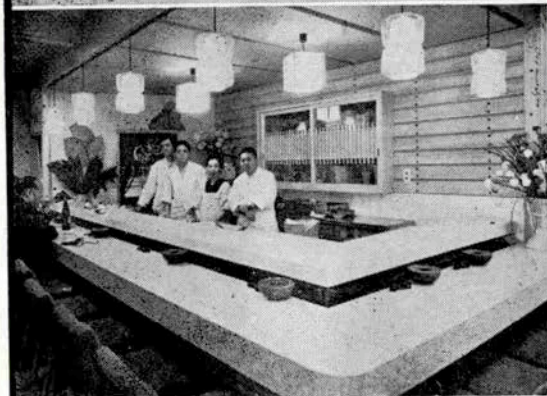
若さであることを凝視しななければならない。それを革新的な大きな足音と

きくのか、ムード選挙の弊と受けとるべきなのがいづれにしても、われわれが選んだ代議士であり国の政治のすべてを託す人なのである。

つまり、昭和年代の選挙はそれなりの方法を考へるべきで落選はすべてを失うことなのだ。一票の重さ、大切さを知るべきで。

〈Y〉

ゆったりと落ち着いたスペースで
新しい“味”をご賞味ください。



鮓の又平

神戸三宮生田ノ社ノ西
電話・三の宮 (331) 0935



おいしさが
口いっぱい
ひろがる……
本場の味



- 三宮センター街柳筋店
TEL 321-3446・331-0572
- 新開地店
TEL 576-1191
- 平野店（平野市場内）
TEL 361-0821
- 三宮センター街サンプラザビルB1
TEL 391-3793

オリジナル **L** サイズ

草履新発売

創業明治二十八年

履物の山下

古い老舗に新しいセンス

確実正札 完全冷暖房

静かに品選びの出来る店

神戸三宮センター街 TEL(391)0256



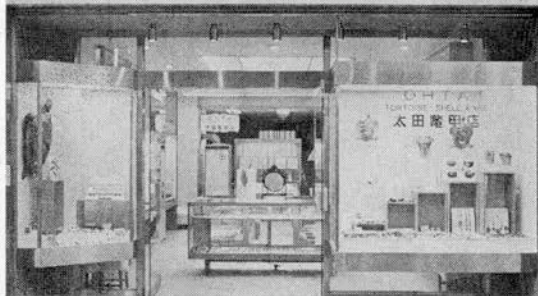
ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

A HAPPY NEW YEAR

太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195



Mr. Kent

came to Kobe

流行に左右されない

本来のオシャレ

それがKentです

シックな

スコッチ風の店舗

それがFunakiyaです

Kent shop

フナキヤ

元町3 TEL(321)0356

でんわ・
321 321 331 — 三三七七
— 〇六三四
— 〇六三五

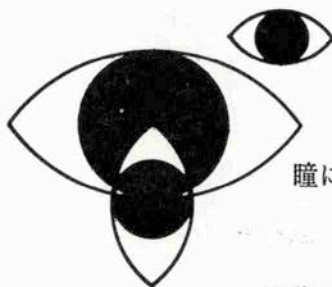
やっぱりうまい
むさしのとんかつ

高級紳士服専門店
神戸テラー



さんちかメンズタウン TEL (391) 0388
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331) 2817・3173

A HAPPY NEW YEAR



瞳に美しさを保つ
スポーツに
美容に
現代の科学が生んだ
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市葺合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)
神戸国際会館内 TEL (251) 8161・(231) 2570

おすし
てんぷら



栄 彌

本店 大丸前・三宮神社東
TEL (331) 567374
(毎週水曜日休み)
支店 さんちか味ののれん街
TEL (391) 52333
(第3水曜日休み)

営業時間
A.M. 11.30 ~ P.M. 9.00

□連載小説

異人館物語 〈6〉

ジェームス山哀歌

小山牧子

え・石阪春生



あらずし 年のころ五十歳を少しすぎたと思われる初老の女が塩屋の高台をゆつくり降りていく。彼女、中井ふさは二十歳でそこで郷里の潮岬村を出、英国系カナダ人E・W・ジェームスの雇人となり、五年前ジェームスが逝くまで彼の寵愛を受ける。彼にちなんで名づけられたジェームス山の中腹から塩屋の海を眺めながら、彼女はジェームスとの過ぎし日の出来事に思いをはせていく。

明治時代といえば多くの異国人が神戸に移り住み、西欧文明を背にして活躍した頃だが、E・W・ジェームスも数少ない相場師の一人で、兵器売込みでもうけた金で塩屋の不動産に目をつけはじめた。そして塩屋のジェームス山にはだいに大規模で自然と調和した外国人居住区にできあがっていった。

蜜を求めて、貧しく勤勉な人々が蟻のように集まってくる。洋服屋、調理人、西洋洗濯屋、運転手、女中、阿媽……等。

日に日を追って、塩屋の山は生みの親であるE・W・ジェームスが夢想した形にその姿を変えていった。木立の間に深くかくし込まれた西洋館には、英国人は勿論のこと、あらゆる国籍の異人家族が住みつき、彼等の日常生活をささえるために、キリスト教教会が、この山の祖先神のようにしてまつられているお稲荷さんの小さな祠に軒を並べて建てられた。

やがて、彼等、異国の民がたつぷりと持っている甘い

さまざまな人種、さまざまな職業の人間集団を包み込んだ山は、独裁者E・W・ジェームスを頭にいたたく、日本の国内では例を見ない排他的で治外法権の色彩をさえ帯びた一郭となり、それはまさにジェームス王国の観をさえ呈したといっても言い過ぎではなかったであろう。この地に移り住んでからのジェームスは、保守性とい

ギリスの守銭奴に徹して生きたようである。

『犬と日本人の立入りを禁ず』

彼の土地の周囲にむらがる王国と無縁な日本人への言動は、この言葉ひとつに集約された。

実際、彼に労働を提供しないし、商品も提供しない日本人は、彼の目にはガツガツと飢えた不愉快きわまる存在でしかない。彼等は、ジェームス大王にとってイギリス人がこよなく愛する犬族以下の存在であったであろう。

無理からぬことと思える点もある。例えば、犬ならば大切な彼の所有地に入り込んでもせいぜい野ネズミを追いかけるか、木の根のあちこちに大小便をたれてまわる程度のワルサをするのが関の山だろう。ところが、日本の勤勉な庶民に門戸を開いてみるである。垂水近辺に住む花売りは、ぞろぞろと山に入り込み、櫛、櫛（しきみ）の木は、たちまち丸坊主になるほどに枝を折られ商の種にされるだろうし、「盆石」の専門家や趣味人間は小さな木を根こそぎ抜いてゆくだろう。子供ずれのとうちゃん、かあちゃんは大笑してピクニックとかに押しかけ、そこいらあたりに紙クズと空きカンの山を作り、帰りには桜の枝や美事に咲き競う躑躅（つつじ）の枝を折り取って持ち帰ってしまうだろう。

といったことから、のちの世に悪評高い例のコン棒状のステッキを持ったジェームス自身が、彼の王国をパトロールする習慣もできたものと考えられる。

が、このがめつい屋の異人さん、ジェームスは日本人から被害をこうむるのは大嫌いな方であったが、日本人をこき使う段になると、無類の人使いの荒らさを發揮したらしい。

どこの社会にも共通することであるとはいえ、西欧の会社や家庭に使われる日本人が持つ疎外感には特に強い。

彼等は日本人社会から孤立した外国人居住区で肩を寄せあい、互いの疎外感や、言語風習の違う異国の雇用主

から受けた傷をなめあいながら、小さな閉鎖社会を作っている。

彼等は、やがて二つの顔を持ちはじめた。自分たちと同じ日本の同胞にむかつては、雇主である富裕な西欧人を自分の仲間と錯覚しての優越感。別の顔は、先進文明国人の豊かさと横暴を目のあたりにした驚きと、必要以上に自分の貧しさを意識する劣等感——。二つの顔は、彼等の内部で激しく相剋しあいながら、やがてそれぞれの日本人個々の誇高く純な人格を磨滅させてゆくのだ。

決して満たされることのない貧しい心を抱いて西欧人の日常生活に奉仕する日本人にいつか『屋敷もの』というさげすみの名が、この閉鎖社会の外で生きる同胞から与えられていた。

異人さんたちは、パーティが好きである。美しい東洋の島国にそれぞれ祖国の風習を持ち込み、この街に住む数少ない友人知人を招きあい、夜を徹して踊りあかし、語りあかす。復活祭、花まつり、海びらき、誕生日、エトセトラ……。おだやかな瀬戸の海を眼下にのぞむ、異人屋敷での快楽の夜はさぞ楽しかったであろう。

クリスマスの頃には、山に雪がくる年もあった。雪は道路や樹木の梢に降り積み、あたりを白一色の世界に変える。祭の日には門にまでも新しく化粧をほどこすのか道に面して朱色に塗りたてた真新しい門が、あざやかな光沢を放ちながら、白一色の世界に嵌込まれていたりするのが、ジェームス山の抒情的風景であったりする。

そんな夜は雪に閉ざされたジェームス山の坂道を、何台もの高級乗用車が高いエンジンの音を響かせて登ってゆくのであったが、彼等、異人さんたちの快楽に奉仕する『屋敷もの』たちは、終日腰を降す暇もないほどに追いついてたられるのだった。そして、明けに近く、宴はたまたあの白々しい気分と、疲れはて棒のように硬直した身体を引ずるようにして、彼等のたまり場になっているカントリー・クラブの調理室にやってくる。

イブの夜は、クラブの調理場も明け方まで火を焚いていた。その火でコチコチにこえた身体を温めながら、彼等、屋敷の召使いたちにクラブのコックもまじえて、長い一日、「イエス・サア」「イエス・マダム」の短い言葉と身をかめる姿勢で堪えてきた燻るものを吐きだしはじめたのだ。

その日は悪い条件が更に重なり、降雪のため車の中に美しく着かざったレディ達を達じこめたまま、ジェームス山の私道は交通不能になった。

「ジェームスの旦那も殺生やわ。あの雪でくるぶしまで埋まってしまうような道をバーティの客、背負うて歩け言いのや」

車の中で立往生した女客を背に、目的の住宅までの坂道を登るのは、並大抵の力仕事ではない。

「重たいのなんのいうたら……。死ぬかと思うたわ」

「ぶうぶう言いな。それも役得いもうんや。おかげで一生触ることなかでけへん金髪のべっぴんさんのお尻、抱っこさしてもろたんやないか」

「ばっかたれ！ わしが背負うたんはデブのおばんじや」

淫らっぽい笑いの渦が人々の輪にひろがり、その余韻は白みかけた雪の戸外へ散ってゆく。

「おまけにチップもくれよらんへん」

「へえ、一銭もかいな」

「ああ。ジェームスゆう男は、シブチンに輪かけて、フンドシしめたような男や。血も涙もないわ」

「そやけどな、ケチもそこまでいったら感服もんやけどジェームスがあなたにそんなえげつない仕事を言いつけるのは筋違いとちがうんか」

「そうや。わしは、なにもジェームスに使われとるんと違わねん。この山全体の警備員しとって、偶然そこにゆきあわしただけなんや」

「おやじさんにとつたら、わし等、日本人の男はみんな同じ顔しとるんやろ。それで、だれかれの区別なしにアゴでこき使うんやで」

四十歳すぎても異人さんから

「ヘイ・ボーイ（少年）」

と呼ばれ、時たまは

「ユー・クレバー（お前は賢い）」

とおだてられ、深い皺の刻まれた顔で、自分の卑屈さを恥じながら相好をくずさずにいられぬ彼等。仲間同志、寄るとさわると互いの雇主の吝嗇さ加減、横暴さ、えこひいき等の数々をぐちりあう彼等。まるで、その行為自体が一種のカタルシスであるかのように――。

が、やがて彼等は人種の違う雇主を、めずらしい動物に関心を持つように、心の奥で愛しはじめた。どれほど憎しみの矢を射込んでも決して、この奇妙な獣にとどきはしない。よくつきあってみれば、毛唐という奴は、単純でおおらかで、仲々いい奴じゃないか。奴等が、自分をないがしろにするのは、あの無邪気な動物の近くにいるのも待っている日本人のゴマスリ野郎のせいだ。そんな発想を持ちはじめた時、彼等は、それぞれの憎悪を身近にいる自分たちの仲間の一人にむけるようになる。そして、折々、彼等の嫉妬と怨嗟の対象は、ジェームス邸の奥女中、中井ふさにむけられた。

当時、同じ『屋敷もの』仲間でありながら中井ふさ一人が、彼等の輪から抜きんでた存在になっていた。ある古老の言葉を借りるならば、『女王のように君臨して』あったらしいのである。

深窓にあるジェームス夫人に代って、旦那とあやしいと噂されたふさが、ジェームス王国の女王さまぶりを発揮したのか。

現実にはジェームス邸の奥女中を勤めながら、洗練されたイギリス淑女としての教養を身につけた夫人の目をかすめて、ジェームスと情を通じることができたか疑問は残る。が、中井ふさ自身が決してその風評を否定しなかったばかりか、むしろそれを誇っていたのだ。

たとえ淫らな噂がつきまともって、並いの召使の仲間を尻目に、雇主から特別に目をかけられることで、仲間

オール関西

〈新年号予告〉

- 表紙／上村松篁『万葉の春』
- カラー写真／連載①〈刻む〉石——岩宮武二
- グラビア「真理を究める」
末川博、堀経夫、田中美知太郎、古林喜楽、吉川幸次郎、桑原武夫、貝塚茂樹
- グラビア「初春をいどる——祇園の芸妓さん」
峰子、紗予子、ゆり子、豊千代、遊香里、荳葉、照子
- グラビア「And His Ladies」——石浜恒夫
- グラビア「私の散歩道」——白石古京、森下泰、福富芳美
- グラビア「この人この時」——和泉雅子、上村松篁、早石修
- 新春座談会——会田雄次、小島輝正、原清
- 連載対談「ボルノ文化論」——朝山新一、木崎国嘉
- 現代漫画文化論「取り戻せ野党精神」
- 随想「断ちきられる伝統文化」
吉田光邦
- 激動のアラブを行く②「モロッコ」
- 織田作之助伝「波瀾万丈」大谷晃一
- 創作／新橋遊吉

月刊オール関西編集部

大阪市北区梅ヶ枝町80 梅新東ビル7 F
TEL 06-364-2434~7 (代)

や出入商人たちの上に羽振りきかすことが出来るならば……それは、貧しい境遇に育ち、勝気で虚栄心の強い女にありがちな心の動きであろう。

ジェームスの側からいえば、その風評は至極迷惑であったに違いない。たとえ、中井ふさに好意を持ち、肉体で通じたにしても、深い愛情に根ざしたものではなからう。典型的なイギリス紳士である彼のこと、保守性と差別の意識は十分に持っていたはずだ。

そして、中井ふさの肉体に触れることで、彼の家庭がみじんのゆるぎも見せなかったということは何を意味するのか。

彼等夫妻が、中井ふさという貧しい日本娘を人とも女ともみとめずにすませる時のみ、夫人はベットを可愛がる夫の行為をやさしく見守る寛容な妻の立場に安住できるのではないだろうか。

しかし、ジェームス夫妻の自分への対し方がわかっていても、中井ふさにとっては、二十歳前に故郷である南紀の漁村を出て、はじめて尊敬の目で見上げた男がE・W・ジェームスである。それ以後の長い年月、ふさの旦那様への思慕は、簡単に切捨てられるものではなかった。

後年、ふさは親しい友人に、

「わたしも人からきれいやいうてもらえた女や。一緒に世帯を持とうというてくれはる男の人もたんといた。そやけど、いざというとき、どの男もどの男も、まるっきし生彩のない影絵みたいなもんになってしまふんや。いやでいやでたまらんようになってしまふんや。いつもそばにいてはるジェームスさんが、あんまり立派すぎて、精が強すぎるんや。あのお方は、私のことをよう尻尾を振る飼犬みたいに思うてはったの私はよう知ってる。そやけど、私はいつも、ジェームスさんの前に出ると蛇に見込まれた蛙みたになつてしまふ。あのお方の偉大さと魅力にのまれたというか、魂を抜かれてしまふやな。それで、とうとう一生を棒に振るような生き方をしちゃうたけど、後悔はしてまへん」

人間のエゴイズムと女の悲しみ、異なった人種のさまざまな葛藤を織込んで、山の緑だけは、人間の愛憎の世界を知らぬげに、年々深みをまし、ジェームス王国の平和と豊饒さを喜ぶように、数々の鳥や獣、そして植物たちがこの地で愛しい、その数を殖やしていった。

(つづく)

曲線ハイウェイ

武田 繁 太郎
え・横 塚 繁

淡路からふたたびフェリーで、神戸に戻ってくると、もう夜の七時を過ぎていた。

「どこかで、うまいものをたべようよ」

あらずし

★東名高連 浜名湖サービシアアで 多木洋介は若い

神戸の女性宇津康子と知合い、幾度か逢瀬を重ねた。康子の魅力にひかれた多木は、正体を知るため、神戸出身の友人岡本和彦と共に東名神を通り、神戸へ来た。康子を見出せぬ多木は、彼女の面影に似た辰馬英子を紹介され、六甲山をドライブに出かけた。ロマンティックな情景に誘われて英子を抱きしめた多木の胸に、始めて感じるいとおさがつづつた。その夜須磨のホテルで二人は愛をたしかめあった。そしてさりげなく二人は別れた。

そしてある日突如として現われた康子からの電話で、レストランで会った多木は、その足でTホテルに向い二人の愛を確か合った。その翌朝、康子は神戸からの電話で再び風のように去っていった。その置き去られた淋しさと孤独に多木は康子を慕い再びKOBÉに來ていたが、康子を追い神戸に來た筈の多木は、友人岡本の早呑みみ込と、神戸の雰囲気のおかげで辰馬英子を探している自分に気付いた。そして、数軒の店をめぐり歩いた後、英子を見つける。

そこでの約束どおり、二人は淡路島へのドライブに出た。西海岸をめぐる後、二人は州本の海岸近くのホテルに憩った。神戸に戻ったのはもう夜だった。エキゾチックなムードを楽しむ食事を終え、薄暗い街で多木は……

O ホテルについて、レンタカーをかえすと、多木は、意気どむように言った。

いってから、彼は、そうして意気こんでいる自分に、自分でおかしくなっていた。この街にいくると、やたらにうまいものが食べたくなるのである。そういう魅力が、この街にはあった。

「なにになさる？」

英子も、多木の胸中を見抜いたように、微笑しながら

たずねた。

「そうだな。昼は魚をたんのうしたから、夜は、肉料理がいいな」

「ステーキ？」

「うむ。いいね」

「じゃ、ちょうどいいお店があるわ。S っていう新しいステーキハウスなの。そこへいきましょか」

「君がいいって言うんなら、いいよ」

二人は、さっそく O ホテルをでて、生田筋のほうへ歩んでいった。

「S はね、ゆうべ、あなたと逢った P ってピッツアハウスね、あの P がはじめたお店なのよ」

英子は、生田筋の入口の赤い鳥居をくぐりながら言った。

彼女は P の常連で、こんど S のマネージメントをうけ持つようになった支配人とも馴染みだという。

「じつはね、あたし、S が開店してからまだいちどもいったことがなかったんだけど、今夜はいい機会だわ」

そう思って、英子は、多木を誘う気になったのだから。どうやら、S は、ピッツアハウスの P とはちがひ、英子などのような学生が、気軽るに立ちよれぬ店のようであった。

S は、P のすぐちかく表通りからちよつといつた、狭い路地の奥にあった。建物は、日本旅館を改造したものだという。入口は S のマークを染めぬいた暖簾がかかり、ステインの柱に白壁のあざやかな、民芸調の店だった。

「や。辰馬さん。いらっしやい」

出迎えたきもの姿のボーイも、英子とは P で顔馴染みだっただろう。

「東京からお客さんがいらっしたので、お連れしたのよ」

「そりゃ、どうも。さあ、どうぞ」

二人は、二階の座敷に案内された。

日本座敷のこの部屋も民芸風の造りで、部屋の装飾にいろんな骨董品がならべられてあった。正面の床の間には、褐色のつやのある、がっしりとした大きな簞笥が置かれてあった。

「ああ、あれ、仙台簞笥っていうんじゃないのかな？」

仙台辺の古い農家でみたことがある。すごい簞笥だな」

多木は、感嘆したように言った。

凝った、しゃれたセンスのある店だと、多木はあらためて座敷のなかをみまわした。洋風造りの、いわゆるステーキハウスとは、まるきり趣きを異にしていた。

「いらっしやいませ。東京からお越しいただいたそうで、どうもありがとうございます」

支配人があらわれ、多木に挨拶した。まだ三十前後の年ゆきだったが、この若い支配人が、店の造作などをつさい手がけたのだという。

「なかなか凝ったお店ですね」

「ありがとうございます。まあ、神戸にもこういう店が一軒ぐらいあってもいいと思ひまして。おかげさまでご好評をいただいております。とくに、外人の方に気に入っていただきまして、東京からおみえになった外人の方も、よくお越しくださいます」

そういえば、東京にも、多木の知るかぎり、この S のようなステーキハウスはみあたらなかった。

「東京からきた外人も、このお店を好むというのが、おもしろいですね」

多木は、興味をそられたように言った。

神戸は、戦前から、異国情緒にあふれた街だといわれてきた。戦後は、街のたたずまいもかなり変ってしまったそうだが、それでも、多木などの目には、東京ではみられないエキゾチックなムードが、まだまだこの街には感じられた。

しかし、神戸を異国情緒にあふれた街だと感じるのは、日本人同志であって、異国人自身は、そうは感じないだろう。

それは、自明の理であった。彼らにとって、ここは、彼らの祖国ではない。日本人が異国情緒を感じるその異国でなかった。異国でない土地に異国情緒など感じるはずはなかったのである。

だが、この店はずがっていた。こうした日本のな造りやムード、つまり、外人たちにとっては異国的な情緒のなかで、彼らの祖国の料理であるステーキを賞味できるというところに、おそらく外人たちは、一種エキゾチックな魅力をおぼえるのだろう。

そして、神戸はこのSのような店があるというところに、いかにもエキゾチックなミナト街神戸の面目が躍如としているように、多木には感じられるのであった。

座敷の隅には、調理台がしつらえてあって、コックがあらわれ、その調理台で肉を焼きだした。火は炭火だという。牛肉独得のこうばしい匂いがたちはじめた。

やがて、堀りごたつ式の大きなテーブルに、ステーキ

が運ばれてきた。トマトのなかにいれたドレッシングがそえられてあった。

手ぐすねをひいていたように、多木は、ナイフをとりあげた。

「こりゃ、うまい」

このまえ、岡本たちと食べた山の手のCのステーキもうまかったが、このステーキも、Cに負けぬほどすばらしかった。柔らかいが、微妙な歯ごたえがあり、噛めば噛むほど味がでくるのである。

彼は、神戸で牛肉を食べてみて、牛肉というものには、新鮮なミルクのような匂いがあるものだということをはじめて知らされた。それは東京では嗅ぐことのできない、牛肉が本来持っている特有の香だったのだ。

このステーキからも、多木は、ほのかなミルクの香を嗅ぐ思いがした。これが、ホンモノのビーフというもののなのであろう。

シャトーブリアンワインの味の味も、格別だった。かわい小瓶にはいつたこのワインは、瓶にPとSのオーダーだというラベルがはってあり、甲州産だが、この店ご自慢のワインだった。

「いかが？」

英子も、フォークとナイフを使いながらたずねた。

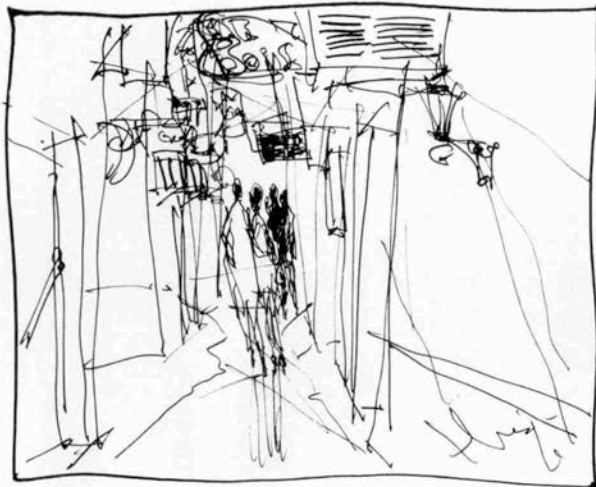
「いうことなし」

多木は、あぶらっぽい口に、さわやかなワインをふくませながら言った。

「このステーキに、このワイン。こういううまいものを味わっていると、しみじみ生きていることの幸わせてものを感じさせられるな。公害だインフレだと、つまらん世の中だけど、まだまだこの人生も捨てたものじゃない。このステーキがそういつてるよ」

若いくせに、妙に老成ぶった多木の言葉が英子を苦笑させていた。

ゆつくりとステーキの夕食をたのしむと、二人は、支配人やボーイたちに見送られて、Sをでた。



〈神戸の催物 1 月ご案内〉

〈音楽〉

★江利チエミ

1月11日(木) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 950円

★トリオ・ロス・パンチョス

1月12日(金) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 800円

★第41回関西学院グリークラブリサイタル

1月13日(土) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 入場券 A400円 B300円

★吉田拓郎リサイタル

1月15日(月) P.M. 1:30~4:00 神戸国際会館

★エレクトーン・ニューイヤークンサート

1月20日(土) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 入場料1000円

★チャイコフスキー くるみ割り人形

1月28日(日) P.M. 6:00~9:00 神戸国際会館 民音 会員券 900円

★朱里エイコ

1月30日(火) 6:30~9:00 神戸国際会館 労音

〈演劇〉

★新春特別公演「夫婦善哉」

1月1日(日) ~10日(水) 昼の部 A.M. 11:30~P.M. 3:00 夜の部 P.M. 4:30~P.M. 8:00 元旦のみ1回

P.M. 1:00~4:30 神戸国際会館 入場料 特別指定席1500円 指定席1000円

自由席 500円(前売り) 700円(当日)

織田作之助/原作 逢坂 勉/脚本 竹内伸光/演出

出演/藤田まこと、野川由美子、芦屋雁之助、花紀 京他

★飢餓海峡

1月16日、17日、18日 P.M. 6:15分開演 神戸国際会館 労演 800円

水上 勉/作 木村光一/演出

演出/高橋悦史、太地喜和子他

〈その他〉

★国立モスクワバレエ団

1月29日(月) P.M. 6:30~9:00 神戸国際会館 入場料 S S4500円 S4000円 A、B3000円

C2600円 D2200円



▲「飢餓海峡」の太地喜和子

「多木さん。こんどのご予定は？」
「そうだな。こうして君にも逢えたし、あすにでも東京へ帰ろうかな」
「そんなに早く？」
「気まぐれみたいに、やってきたんだから。こんどは、君が東京へくる番だよ。いつくる？」
「いつって、あたしは、あなたとちがって、そう気ままには動けないわ」
「やっぱり、女のコは損だ。君がこられないんなら、また、こつちがでかけてくるか。東京で逢うより、神戸で逢ったほうが、ずっとたのしいからな」

二人は、生田神社のほうへでる裏通りのような道を歩

いていた。この辺にも、バーやクラブが軒をつらねていたが、そうした店がとぎれると、きゅうに、裏通りらしく人通りもまばらで、薄暗くなる箇所があった。多木はどこを歩いているのか、正確にはわからなかった。その薄暗い通りで、多木たちのすこし前方を、二人の男女が、多木たちとおなじ方向に歩いていたことも、はじめのうちは気づかなかった。
なに気なく多木はその二人の男女の後ろ姿に目をとめた。男は、背の高い中年ふうの外人で、女は、髪を長く垂らした、まだ若い日本人だった。
ふいに、多木の目がひかかった。思わず、多木は、息をひそめた。距離は十五メートルか二十メートルほどあったろうか。腕を組んだ二人の男女は薄暗い箇所から、店の灯のあかるくかがやいている箇所にてた。
多木の目は確認した。彼は駆けだしたい衝動にかられた。だが、彼のそばには、英子がよりそっていた。多木は走れなかった。
(つづく)

神戸のうまいもん&ドリンキング

★日本料理

- 阿なご寿司 青 辰
神戸市生田区元町通3-184
TEL 331-3435
- 讃岐名代うどん あこや亭
神戸市生田区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
- 和食くれない
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494
- かつばう 花くま
神戸市生田区花岡町45
TEL 341-0240
- 鍋もの・おむすび 悟味西
お茶漬・おぼろ 神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319
- お茶漬・おむすび 里
鍋もの 神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535
- たこ焼 たちばな
三宮センター街(旧柳筋) TEL 331-0572
- 和風料理 楽樹
神戸市生田区下山手通3丁目41
トアロード西筋淡路交通入 TEL 391-8649
- 料亭 大しま
舞合区熊内町6丁目39の6
TEL 221-1360・1945
- 寿司 ミハラ
神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155

★西洋料理

- レストラン アポロン
ティー・バーラ 神戸市舞合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231
- レストラン 鹿鹿 皮〈あらかわ〉
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315
- 純フランス料理 エスカルゴ
神戸市生田区三宮町1-22
三宮センター街裏 TEL 331-5034
- レストラン・コーヒショップ ルカ・カルトン
生田区北野町3-67-2
TEL 241-4321~4
- ステーキハウス れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

- レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778
- maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109
- 鉄板グリル きゃんどん
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183
- レストラン キングスアームス
神戸市舞合区磯辺通4-61
TEL 221-3774
- グリル ケーenz
東店 生田東門筋 TEL 391-0159
西店 農薬会館西下ル TEL 391-3212
- レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554
- 車かつ店 和蘭陀屋
三宮相互タクシー北入
TEL 321-0230
- グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509
- BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108
- イタリア料理 ドンナロイヤ
神戸市生田区明石町32
明海ビル地階 TEL 331-7158
- レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622
- ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545
- レストラン フック東店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207
- ティー・レストラン 那寿
三宮トアロード
TEL 391-1873
- レストラン ミリオナークラブ
生田区山本通2丁目50の2
レストラン 231-9393~5
メンバーズ 221-1162

- GALLERY & STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通2丁目98/99
YMCA西側筋入 TEL 331-5817
- メキシコ小料理 ティファナーナ
神戸市生田区山本通3丁目18回教寺院前 TEL 231-1188
- ★喫茶
ファーク ウェスタン ローストシティ
神戸市生田区三宮町3丁目22
TEL 331-3770
- 宮水の にしむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手1丁目70
TEL 221-1872・231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669
- modern Jazz さりげなく
& Coffee 生田区北長狭2-22 TEL 331-9762
- 高級茶房 ミハラ
神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 321-4735
- 喫茶・レストラン バロ ン
神戸三宮サンブラザ地下 TEL 391-1758
トアロード店 TEL 391-1210
- ★club
くらぶ 阿以子
神戸市生田区中山手2丁目89
TEL 331-6069
- c l u b 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627
- エドワーズ倶楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトロースビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300
- c l u b 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386
- c l u b さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120
- クラブ 佐久間
神戸市生田区東門筋ビュスタウンビル3F
TEL 321-2226~7
- クラブ 千
神戸市生田区中山手通り2丁目93 東洋ビル2F
TEL 391-1077
- 洋酒肆 仏蘭西屋
三宮生田新道相互タクシー北入
TEL 321-0230

- c l u b なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626
- c l u b 薩〈ふき〉
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515
- くらぶ ーげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593
- c l u b Moon Light
BAR TEL 331-0886・391-2696
Club TEL 331-0157
- クラブ るらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854
- コーペインダストリアルクラブ
(旧)神戸実業倶楽部 神戸市生田区元町通1丁目12
TEL 391-3155
- ★STAND & SNACK
スタンド 英国屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100・331-6600
- スナック エルソタノ
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620
- スタンド グラムール
生田筋ビル地階 TEL 331-4637
- SNACK MATSUMOTO
神戸市生田区中山手通1丁目32ノ3
曾根ビル1F TEL 241-5470
- night house リチャード
神戸市生田区山本通1丁目9
小寺マンション1F TEL 241-3041
- スタンド さりげなく
生田区下山手通2丁目31
生田筋上高地西入 TEL 331-3714
- グラタン小屋 5つの銅貨
神戸市生田区北長狭通2-14
金剛山西入 TEL 391-1438
- スナック ビジービー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582
- 居酒屋 ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575
- スナック シーザー
生田神社西門伊藤ビル地下
TEL 331-1429

- 洋酒の店 キャンティ
神戸市生田区北長狭通2丁目3
TEL 391-3060・391-3010
- DRINK SNACK スネカジリっ子
神戸市生田区下山手通2丁目
永晃ビルB1 TEL 391-8708
- Stand&Snack ティー&ドリンク サントノーレ
生田区下山手通2丁目トア・ロード
TEL 391-3822
- 素舌洞 でっさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
三宮映山入 TEL 331-6778
- STAND アトラス
生田区中山手通1丁目95
TEL 331-5433
- STAND FANFAN
神戸市生田区下山手通2丁目29
TEL 391-1410
- スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアアマンション TEL 231-0723
- スタンド クラブ・ガーデニア
神戸市生田区中山手通1丁目115
東門筋中島ビル2F TEL 391-3329
- SNACK 山の手
神戸市生田区中山手通1丁目
ソネビル1F TEL 221-3637
- 淳子の店 娑(SARA) 羅
生田区中山手1丁目91
TEL 391-1647
- スナック ダンディ
神戸市生田区・農薬会館西筋上ル
天野ビル2F TEL 331-6450
- SNACK BAR マゼラン
神戸市生田区加納町4丁目1
TEL 391-2366
- snack MORE MORE
神戸市生田区中山手通1丁目107
TEL 391-4162
- スナック 山荘
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823
- スナック シャンティ
神戸・加納町3丁目布引ビル地下
TEL 231-5202
- SNACK & DRINK ガスライト
神戸市生田区加納町3丁目1番地61
TEL 241-7724

★KOBE PLAY GUIDE MAP★
神戸のうまいもん＆ドリンキング

[illegible]